

株式会社アステージ(代表取締役社長：酒井尚志)は、株式会社テラインコグニタ(代表取締役：ボシストム)と、2023年5月、自転車を活用した旅行商品の開発、サイクリングガイドの養成及びデータの活用に関する業務提携を締結しました。



旅行を通じた地域の課題解決サービスを手掛ける株式会社アステージ(代表取締役社長：酒井尚志)は、自転車を活用したソフトウェアづくり&地方創生を行う株式会社テラインコグニタ(代表取締役：ボシストム)と、2023年5月、自転車を活用した旅行商品の開発、サイクリングガイドの養成及びデータの活用に関する業務提携を締結しました。

#### 【株式会社アステージ 概要】

組織概要：

人材派遣／人材紹介、旅行業、日本語学校運営、外国人就労支援、日本語教育サポート業務

設立年月日：2003年10月（会社成立1987年5月）

資本金：3000万円

代表者：酒井 尚志

HP：<https://www.astageinc.co.jp/>

#### 【株式会社テラインコグニタ 概要】

組織概要：自転車を活用したソフトウェアづくり&地方創生

設立年月日：2023年5月1日

資本金：400万円

代表者：ボシス トム

HP：<https://www.cyclingfriends.co/>

#### 【事業提携の内容】

##### 1. 自転車を活用した宿泊型旅行商品の企画実施

株式会社テラインコグニタが持つ自転車観光のノウハウや技術と我々が考える旅を融合させて、交流や観光体験を通じて、交流人口に繋がる活動、心と体を健康にするウェルネスな旅づくりを行います。今後は日本人だけでなく訪日旅行客を対象とした自転車観光旅行実施を目指します。

##### 2. サイクリングガイドの養成

当社は地域の方々と旅行参加者の交流を促し、地域の魅力を知ってもらう事がガイドの役割と考えています。お互いの強みを活かし新たなサイクリングガイドのカリキュラムを設定することで、自転車の良さ、地域の良さを伝える事ができるガイド養成に取り組んで参ります。

##### 3. 自転車を活用した地域活性化事業の開拓

株式会社テラインコグニタが運営するサイクルツーリズム専用アプリ「CyclingFriends」を用いたキャンペーンの実施や、CyclingFriendsに集まるデータ（走行ルート、絶景スポット、アクティビティの写真やレポートなど）を活用し、地域の方々と一緒に、たびまえ、たびなか、たびあとの情報発信として地方の魅力を知らせてもらう取り組みを行って参ります。

【株式会社アステージ代表取締役社長 酒井尚志】

当社は旅行業界に特化した人材会社として20年間サービスを提供して参りました。その間に旅行業界は大きな変革期を迎え従来の団体送客型から個人着地型へ需要が移行しつつあるなかで、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生し業界全体にこれまで経験したことがない甚大な被害が発生しました。こうした環境のなかで当社は国内の個人や小グループ単位で行う体験型旅行やコロナ後のインバウンド観光の急回復に備えて第2種旅行業を取得し、観光を通じた地方創生を支援する事業を開始いたしました。そのようななかで、このたび株式会社テラインコグニタ様と業務提携を結ぶことができボシストム氏が行ってきたサイクルツアーのノウハウやコミュニティ、また今回発表されたサイクルツーリズムのプラットフォーム活用を協同で推進することは当社の事業展開にも大きな武器になります。私たちが目指す地域の人々との交流を通じた体験でその地域や食の魅力を知らせてもらい交流人口増加を目指す取り組みを加速させる事ができると考えております。サイクルツアーは、地域観光でその地域でしか味わえない体験をしながら移動するにはとても便利で、さらに運動によって身体や精神のリフレッシュもできCO2を出さない移動手段で環境にもやさしい、良いことづくめのツアーです。

それはウェルネスツーリズムやSDGsにも繋がると考えております。

これから株式会社テラインコグニタ様と協調体制で、お互いの良さを高め合い観光産業の発展と地域創生に貢献できるように取り組んで参ります。

【株式会社テラインコグニタ代表取締役 ボシストムのコメント】

この度、旅行業界に長年のご経験をお持ちの株式会社アステージ様と業務提携ができることをとても光栄に思っております。我々は今月に立ち上がったばかりのスタートアップ企業であり、当面はウェブアプリの開発とサイクリングツアーの運営体制の整備を優先して事業の拡大に取り組むことが求められますが、優先順位が低く重要度が高いような活動を疎かにするわけにもいかないと考えております。株式会社アステージと協調体制を取ることで、並行して次のフェーズに手掛ける準備もできるのではないかと考えております。また、「自転車がもつ可能性を引き出して、社会に波及させる」といった我々の理念を実現するためにも、いかに一般社会を幅広く巻き込んでいけるかが成功の鍵であると考えており、そういう意味でも、最強のパートナーを迎えられたのではないかと考えております。